

10月1日に診療開始しました！

さわやかな秋風が吹く季節、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。
このたび、我々、広島がん高精度放射線治療センターは無事に10月1日に診療開始を迎えることが出来ました。
これも一重に、諸先生方のご助言およびご支援によるものと、大変感謝しております。
各病院よりご紹介頂いた患者様に適切で正確な高精度放射線治療を提供できるように、我々スタッフ一同、日々精進を重ねていく所存です。今後も引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。



前列左より、岩波看護師長、小澤物理士長、権丈副センター長、永田センター長、山田技師長、井上事務長

HIPRACでの治療概要

基本的な対象

- ✓ 局所の根治を期待する症例
- ✓ 原則的に外来通院可能な症例
- ✓ 公的健康保険診療の対象となる症例

治療概要

- ① 前立腺がんに対する強度変調放射線治療(IMRT)
- ② 肺がんに対する定位放射線治療（呼吸停止照射もしくは動体追尾照射）
- ③ 肝臓がんに対する定位放射線治療（呼吸停止照射もしくは動体追尾照射）
- ④ 転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療
- ⑤ その他の疾患（乳がんなど）

各疾患の詳細（一部抜粋）

- ① 前立腺がん
早期もしくは局所進行期、骨盤内リンパ節転移陽性症例に対する根治照射（74Gy-78Gy/37-39回）
全摘術後のPSA再発、手術後アジュバント目的の放射線治療（66Gy/33回）
- ② 肺がん（末梢性）* 中枢性病変は要検討
IA期：48Gy/4回、IB期および転移性肺腫瘍：56Gy/4回
- ③ 肝臓がん
5cm以内：40Gy/4回、転移性肝腫瘍：56Gy/4回
- ④ 転移性脳腫瘍
長径2cm以下：30Gy/3回、長径2.1-3.0cm：35Gy/5回、長径3.1-4.0cm：50Gy/10回
- ⑤ 乳がん
温存乳房照射：42.56-52.3Gy/16-20回、胸壁や鎖骨上部を含む場合：50-60Gy/25-30回

なお、上記は標準的な線量であり、個々の症例に応じて内容が変更する場合があります。
また、症例の相談等は随時受け付けておりますので、お気軽に下記までご連絡ください。